

平成 23 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 東京特殊電線株式会社
 代表者名 取締役社長 立川 直臣
 (コード番号 5 8 0 7 東証第 1 部)
 問合せ先 経理部長 古幡 篤司
 TEL (03) 5860-2121

業績予想、配当予想及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました「平成 23 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、
 未定としておりました平成 24 年 3 月期の業績予想、配当予想及び特別損失の計上について、下記のと
 おりお知らせいたします。

記

1. 連結業績

(1) 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日) (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成 23 年 5 月 13 日)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	13,000	△100	△300	△1,150	△26.05
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	18,054	△95	△367	△551	△12.49

(2) 平成 24 年 3 月期通期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成 23 年 5 月 13 日)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	26,000	100	△200	△1,150	△26.05
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	33,062	△469	△917	△1,204	△27.29

2. 個別業績

(1) 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日) (単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成 23 年 5 月 13 日)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	8,500	△50	△200	△650	△14.71
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	13,523	165	△147	△177	△4.02

(2) 平成24年3月期通期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成23年5月13日)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	17,000	△100	△350	△850	△19.23
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	23,885	△247	△660	△1,673	△37.86

3. 業績予想の公表理由

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年3月期決算を発表した平成23年5月13日の時点では、東日本大震災の影響を見極める事が困難であることから未定としておりましたが、この度、最近の状況を踏まえて下記のとおり算定いたしました。

売上高は、事業譲渡後も昨年度前半は発生していた、国内における巻線事業の売上がほぼなくなったことや、光関連製品が減少したこと、震災の影響により自動車用基板加工品、医用画像表示用高精細ディスプレイ、HDD用コイル加工品、コイル製品の売上が停滞した事などから、連結業績、個別業績共に昨年度と比較して減少する見通しです。

損益面におきましては、不採算事業、不採算製品から撤退することや、HDD用コイル加工品の主要部品を内製化したり、販管費他の間接費を徹底して削減する事により業績改善を図りますが、震災影響による受注停滞などによる売上減少により営業損益は圧迫される見通しです。

なお、台湾にある巻線事業を行う持分法適用関連会社の株式を譲渡することにより、連結業績の第2四半期連結累計期間において約560百万円、個別業績の第2四半期累計期間において約175百万円の関連会社株式売却損を特別損失として見込んでいます。また、過去において株式配当の際に猶予されていた源泉所得税約100百万円を法人税、住民税及び事業税として見込んでおります。

4. 配当予想

(1) 平成24年3月期 配当予想値 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期 (円)	期末 (円)	合計 (円)
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	0.00	0.00	0.00
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	0.00	0.00	0.00

5. 配当予想公表の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要施策のひとつと考えており、収益状況、財務体質及び内部留保などを総合的に勘案し利益配当を行っていくことを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業展開を考慮するとともに生産効率向上、品質改善、新製品開発等に活用し、企業体質の強化と企業価値向上に努めてまいります。

平成24年3月期の期末配当につきましては、当期において連結業績、個別業績ともに当期純損失となる見通しであることから、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

6. 特別損失の計上について

台湾にある巻線事業を行う持分法適用関連会社の株式の一部を譲渡することにより、連結業績の第1四半期連結累計期間において500百万円の関連会社株式売却損を特別損失として計上しました。なお、当該関連会社株式の全てを譲渡する計画であり、それにより第2四半期連結累計期間においては関連会社株式売却損は約60百万円増加して約560百万円となる見通しです。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により業績予想と異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以上